

発 言 通 告 書

令和4年12月16日

松山市議会議長 渡部克彦 殿

松山市議会議員 原 俊 司

次のとおり通告します。

発言順位	16	受領日時	12月16日 午前 11時 55分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 35 分
答弁を求める者	・市長 ・農業委員会会長	・教育長 ・監査委員	・選挙管理委員会委員長 ・公営企業管理者	・公平委員会委員長

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	児童養護について	(1) 児童相談所と本市との連携について ① 本市が虐待通告を受け、児童相談所の一時保護に至る場合の流れと過去3年間の支援依頼数及び一時保護件数を問う。 ② 一時保護後の情報共有と支援の連携について ③ 社会的養護への措置となった子どもの一時帰宅や措置解除の際に、本市と児童相談所との連携はどのように行い、意見はどのように反映されているのか。 (2) 今後の社会的養護への取組について ① 本市として、児童養護施設や子どもへの支援について、どのような役割を担っていくのか。 ② 児童相談所の設置に向けて検討するのか。
2	商店街振興について	(1) 中央商店街の通行者数及び空き店舗率の推移を問う。 (2) 中央商店街の支援策について実績と効果を問う。 (3) 現状を鑑み、湊町三丁目C街区地区第一種市街地再開発事業は重要な事業であり、関係部局が一体となって推進すべきと考えるが、商店街振興の観点からも積極的に取り組むことについて、市長の考えを問う。
3	ごみ処理について	(1) 本市のプラスチックごみの現状について ① プラスチック製容器包装の収集量の直近3年間の推移を問う。 ② プラスチック製容器包装として排出されたごみのうち、現状、再資源化できるものとできないものとの違いと割合について問う。 (2) 可燃ごみに含まれるプラスチックごみについて ① 可燃ごみに含まれるプラスチックごみの量とその割合を問う。 ② プラスチックごみの燃焼効果はどのくらいの化石燃料に相当するのか。

